

自己肯定感と将来の希望を持ちづらい日本の若者

政府が6月に出した「子ども・若者白書」で、世界7か国の10代・20代の意識調査が特集された。「自分の将来に明るい希望を持っているか」について、「どちらかと言えば」を含めて「希望がある」と答えた人は、イギ

リス、ドイツなど他の6か国が8割から9割だったのに対し、日本は62%で最下位。「自分自身に満足している」人も、日本は46%で最下位、他国は7割を超えた。自己肯定感と希望を持てる社会をつくらう。

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-6-8サニープレイスビル5FA
TEL 03-5687-2901(代) FAX 03-5687-2903
メール・アドレス mail@fukuho.org
URL http://www.fukuho.info/
ツイッター @fukuho_info
発行責任者/前田鉄雄
2014年7月5日発行

岩手福祉労



第29回 県内一周反核平和マラソン

岩手では、毎年「県内一周反核平和マラソン」が行われています。国際平和年の1986年に「青年が、もっと核兵器廃絶運動の先頭に」との思いで始まり、29回目を迎えました。今年は、6月3日から6日までの4日間、核兵器廃絶、国家補償の精神に基づく被爆者援護法の制定、核利用の見直し、平和憲法の遵守など核兵器も戦争もな

「核に頼らない社会を」かかげ

7人の青年が走りぬく



広島支部

来たる8月5日、原水爆禁止世界大会にあわ

つなげよう！ 平和への思い

「平和こそ最大の福祉」—平和行進や原水爆禁止世界大会への参加をはじめ、毎年、各地で積極的に平和のとりくみがつくりだされています。「集団的自衛権の行使閣議決定」など、解釈改憲・戦争する国づくりなどが大きな問題となっている今、全国の組合員の平和への思いを発信し、つなげ、大きな力にしていきたいと思います！



東京地本



平和行進を歩く

今年も、5月6日に平和行進(太平洋コース)がスタート。6日は東京人、中央本部3人が参加しました。

昨年、東京地本元執行委員の村田啓さんが東京から広島までの通し

沿道に「平和と憲法を守れ」とアピール

7日は、連休明けの平日なのでビジネスマンの目を引いて、沿道の方もチラシを快く受け取り、平和をアピールできたと思います。

平和こそ最大の福祉

「軍都・広島」をテーマに 平和集会を開きます

これまでの平和集会は、NPT参加報告や、原爆に関することを行ってき

福祉の風

6月は木々をはじめ沢山の命が色濃くなつていくと思う。

先日、洗濯物を干す時に、サナギからふ化する蝶を見つけた。眺めつつ「生命を守り生活を維持する利益は人格権の中でも根幹部分をなす権利ということが出来る」とした大飯原発差止訴訟福井地裁の判決を連想した。「個人の尊重」という憲法の基本理念に立つ素敵な判決だ。すると、劣等生でも学習すれば何とかなると励ましてくれた「教えるとは希望を語る」と、学ぶとは誠実を胸に刻むこと(ルイ・アラゴン「フランクスの起床ラップ」)の一節が浮かんだ。あれこれと考える性格のせいかな、安倍暴走政権の仕業への怒りか、連想の理由を深く考えず視線を空に移す。空を流れる雲に「原爆キノコ雲の写真を見た時、この下にワシがおったんじやとリアルに想像してくれ」—昨年亡くなった広島の大先輩の言葉が聞こえる。梅雨の連想は、つながらず呼び起し、つないでいくこの思いを色濃くさせた。(上岡)

まんがタイム

